



# 村小だより

令和2年1月14日発行

～迎春 2020年「庚子(かのえ・ね)の年」を迎えて～

校長 鈴木 正美

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

2020年(令和2年)は、前日の強風もおさまり、曇り空の中にも青空がのぞかれ、時折陽光も差し穏やかな朝を迎えました。庚子の年、よい一年になりそうな予感がしました。

今年も元旦マラソン大会の開会式に出席させていただき、自身の新年をスタートさせました。やる気と熱気あふれる大勢の強者たちの中に、村小っ子や村小現旧職員や保護者、地域の皆様の姿も見られ、元気をいただくとともに、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

6日、3学期始業式。子どもたちはいつものように元気に登校してくれました。うれしい限りです。3学期は今年度を「まとめる学期」であり、次年度へ「つなげる学期」でもある重要な時期です。わずか53日ですが、子どもたちには雪や寒さに負けず、安全で元気に活動しながら、自分の成長を確かめて補強し、次への自信と希望につなげてほしいと願っています。

<始業式:校長講話(要約)>

3学期は、1年をまとめ、しめくくる大事な学期です。昔から「終わりよければすべてよし」「有終の美を飾る」など、物事の最後をしっかりまとめ、しめくくることは、とても大事なことでされてきました。今年も、そうなるために、大切なことを三つお話しします。

一つ目は、「**進級・進学**の心構えをしっかりもつこと」です。次の学年や学校に進むまでに、自分はこうなるんだという強い気持ちをもって努力することが大切です。特に、6年生は村小のリーダーとしての務めを5年生にしっかり引き継ぐと同時に、一歩大人の仲間入りをする心構えを、1年生から5年生も、一つ上の学年になる心構えをしっかりもつことが大切です。

二つ目は、「**学習のまとめ**」です。学習したことが「分かる・できる」ようになって、次の学年に進まなければなりません。3学期は、1年間の復習が多くなるので、自分の得意な教科はもちろん、苦手な教科の勉強もしっかり復習してください。そして、学習や活動の成果を、様々な学力テスト等で発揮できるよう、まとめをしっかりすることが大切です。

三つ目は、「**健康づくり**」です。3学期は、運動不足になりがちです。エネルギーとしての朝ごはん、給食をしっかり食べることはもちろんですが、休み時間はみんなで遊んだり、縄跳びをがんばったりして身体を動かす運動を心がけ、丈夫な骨をつくってください。

さて、今年の夏には、「東京オリンピック」が開催されます。日本が世界中から注目され、世界中から多くの人たちがやってきます。今、競技選手や審判の方々、競技会場や道路をつくるの方々、警備やボランティアの方々等々、国を挙げて「日本のよさ、素晴らしさを伝えよう」と、大会の成功に向け、それぞれの準備をがんばっています。全校のみなさんも、一人一人が「自分のよさ、素晴らしさ」に自信をもち、胸を張って、次の学年や学校に進み、すばらしい2020年になるよう、1年のしめくくりをみんなでがんばりましょう。

本年もチーム村小として、全職員で知恵と力をふり絞り、精一杯務めさせていただきます。これまでと変わらぬご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。